

施策評価調書

施策名	5-1-5	学校安全指導の充実		施策を取り巻く環境変化	社会情勢の変化から、交通を取り巻くマナーや規則を守る態度は年々悪化しています。地域全体で子どもたちを犯罪から守るための工夫や、子どもたち自身が自分の身を守ることも、積極的に学んでいくことが必要と思われます。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 65		
担当部課	教育部 子どもみらい課	担当 リーダー	学校教育担当 加藤 敦史		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	(※該当項目なし)	満足度	第 位 / 全 施策	満足度	第 位 / 全 施策
優先度	(※該当項目なし)	優先度	第 位 / 全 施策	優先度	第 位 / 全 施策

満足度: 「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度: 「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(交通安全・防犯意識の高揚)							
指標1: 登下校時の児童生徒防犯ブザー所有率: (%)	22年度実績	計画	72.8%	79.6%	86.4%	93.2%	100.0%
	66.0%	実績	%	%	%	%	%
指標2: 児童生徒の交通事故件数: (件)	計画	12件	9件	6件	3件	0件	
	16件	実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○児童生徒が登下校時の安全を確保するため、防犯ブザーを小中学生全員に所持して対応してもらうことを目標に指導をしていきます。また児童生徒の交通事故ゼロを目標に安全指導を徹底して行います。特に中学生においては、自転車の正しい乗り方の指導も実施しながら事故件数ゼロをめざします。						

進捗状況の区分 ↑: 目標以上の成果があった →: 目標どおりの成果があった ↓: 目標に至らなかった △: 遅延・未着手等 ×: 見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位: 千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	当初	34,710	40,200			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22事後評価 スクールガード、青色灯防犯パトロール、こども110番の家など、各学校において、地域を巻き込んだ安全指導や防犯対策を行いました。	各地域の取り組みの利点を共有していくこと、地域の協力を得ながら協力者を増やし、息の長い活動として持続させることが狙いです。
	H24事前評価 子どもたちの安全を守るため、学校内の取り組みを広げ、家庭やPTAとの連携はもちろんのこと、地域の大人をも含めた安心できるまちづくりの視点は欠かせません。各小学校や学区の特色を活かした、強固な取り組みとなるよう努めます。	
総合評価		施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
総合評価(町長)	現時点での施策展開の現状維持は妥当と評価するが、財源との見合い(事業費・人件費ともに)については、所管部署としても不断に検証されたい。	・全て「継続事業」とする。 ・ただし「児童生徒通学対策事業費」にあつては、今後、受益者負担を検討されたい。